



平成 28 年 7 月 20 日(水)
練馬区立開進第四小学校
校長 佐々木 秀之

開四小だより

夏休み号

42 日間の過ごし方 …

校長 佐々木 秀之

夏も本番、関東地方の梅雨明けはまだ発表されていませんが、最高気温が 30 度を超える真夏日が続くようになりました。いよいよ 42 日間の夏休みが始まります。

＊

かの吉田兼好の「徒然草」には、「家のつくりようは、夏を旨とすべし。冬はいかなるところにも住まる。暑き比わろき住居は堪へ難きことなり」と書かれています。

日本には素晴らしい四季の変化があります。爽やかで過ごしやすい春と秋。冬は雪が降り、寒くとも二月が「如月（きさらぎ）」（着る物をさらに重ねて着る）というように、重ね着をすれば耐えられない寒さではありません。しかし、「夏の暑さ」は堪え難い。この高温多湿の夏を如何に乗り切るかに頭を悩ませていたことは、今も昔も変わりありません。

先人たちは、水や風、植物など自然の持つ恵みや長所を上手に利用して、夏を涼しく過ごすために知恵を絞ってきました。林により日陰をつくり、下草を生やして照り返しを防ぎ、すだれやよしずで日射しをさえぎりながら風を保ち、打ち水で気温を下げ、さらには風鈴の音色に涼しさを感じるなど先人たの知恵には見習うべき点がたくさんあります。日本人は感覚が鋭く、微細であることを表しているとも言えます。暑い夏を体調を崩さずにいかに過ごすか、どうぞ我が家の工夫を…

＊

8 月 5 日、第 31 回オリンピック競技大会がブラジル・リオデジャネイロで開幕します。そして、9 月 7 日には、第 15 回パラリンピックが開幕します。オリンピックは、フランスの教育者ピエール・ド・クーベルタン男爵の働きかけによって、「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって、平和でよりよい世界の実現に貢献すること」というオリンピック精神の基、1896 年近代オリンピックとして復活しました。

パラリンピックは当初、リハビリテーションのためのスポーツでしたが、現在はアスリートによる競技スポーツへと発展しています。出場者も「車いす使用者」から対象が広がり、もうひとつの (Parallel) + オリンピック (Olympic) という意味で、「パラリンピック」という名称が定められました。

日本人選手は、きっと私たちを興奮・感動させてくれるものと思います。そして、大会のシンボルとしてなじみ深い、世界五大陸の団結を表した五輪のマークのように、世界中の人をより強く、固く、結んでいくことと思います。ご家族一緒に歓声を上げて、応援してみたいかがでしよう…

＊

夏休みに時間割はありません。ご家庭で夏休みの時間割・行事予定をお子さんと一緒に作り、子供たちが普段はできない多くの体験ができるよう、充実した夏休みをお過ごしください。そして、9 月に元気に登校してきた子供たちから、「かけがえのない夏休みだった」という声が聞こえてくることを願っています。